



鈴木だいち議員
(日本共産党小平市議員団)

第6波から市民の命と健康を守るために自治体独自の施策を

質問 ①有症状者の市民が市内でPCR検査を受けられず市外で受けている状況への把握は。

②コロナ禍における生理用品の配布事業についての総括は。

市長 ①市外医療機関でPCR検査等受けている人のことは認識しているが、市内での予約が取れないためか把握できない。

②昨年6月末から10月末まで配布を通し悩みごとに応じた相談先の情報を提供してきた。多くの人に活用され支援につながり効果があつたと認識しているが、事業再開は予定していない。

新型コロナウイルス感染症の急拡大から子どもと保護者を守る

質問 ①市内保育現場での児童と保育士の1月、2月の陽性者数と登園自粛した児童の人数は。

②市立小・中学校の児童・生徒の1月、2月の陽性者数と臨時休業した学級数は。

市長 ①家庭内感染を含め陽性判明の児童は本年1月78人、2月14人、保育士は1月27人、2月44人、濃厚接触により登園自粛となった児童は約800人である。

教育長 ②陽性の児童・生徒数は1月が232人、2月が690人である。臨時休業は1月が30学級、2月が70学級である。



山田大輔議員
(政和会)

小学校35人学級編制政策に伴うポストコロナ期を見据えた意向

質問 ①市立小学校35人学級編制政策の目的をどう捉えるか。

②この政策の課題と取組は。

教育長 ①一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と、安全・安心な教育環境を整備すること

②市内東部地区を中心に児童生徒が増加している地域があり、教室の確保など学校環境の整備

が大きな課題と捉えている。取組では、小学校の増築等の推進のほか東部地区では調整区域の見直しなどの対応を行っている。

学校給食センターの建て替え期間中の代替給食について伺う

質問 ①代替給食に対する生徒アンケートの回答を受けて、今後の改善策は。

②代替給食の1番の問題は。

教育長 ①味つけや配食量はおおむね適正と判断した。一方、デザートや牛乳以外の飲物の提供を増やしてほしいとの回答が

計の範囲内で対応している。

②令和2年度まで学校給食センターで調理し、生徒に人気があつた調理パンや汁物が提供できないといった献立の制約があることと認識している。



福至英俊議員
(政和会)

財政非常事態宣言について

質問 今の財政状況では今後必要な行政サービスが提供できない懸念があるならば、財政非常事態宣言発出も検討すべきでは。

市長 同宣言は各自治体の考えの下行われるが、財政の早期健全化団体になるおそれがある場合等に、市民サービスに大きな影響が出るような事業見直しのために宣言されているものと捉えている。現状は同団体になるおそれなく宣言する考えはない。引き続き第1期経営方針推進プログラムに取り組むことで、財政負担の軽減を図り、持続可能な行政運営を実現していく。

地域振興と健康長寿のために

質問 ①市内公共施設の階段に、消費カロリー表示付きの階段アートを設置してはどうか。

②市立中学校に同アートを設置してはどうか。

市長 ①設置による思わぬ事故を招かないようにしなければならぬなど、安全性に関する課題もあるため、各公共施設の特性に応じ施設管理者が慎重に見極める必要があると考えている。

教育長 ②特別な配慮が必要な生徒への配慮のためにも、慎重に取り扱うべきと認識している。



議員の辞職

令和4年3月31日、山崎とも子議員(生活者ネットワーク)から、市議会議長に議員辞職願が提出され、同日付で許可されました。

市議会へのご意見、ご提案をお聞かせください

市ホームページにおいて、「市議会へのウェブ提案箱」を試行的に設置しました。

特別委員会中間報告

3月定例会初日に各委員長が行った特別委員会中間報告は次のとおりです。

広聴広報特別委員会
(中間報告その3)
委員長 福室 英俊

令和元年5月20日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。前回の中間報告(令和3年2月)以降の経過の概要は次のとおりです。

- 開催日 令和3年3月16日、令和4年1月18日(計12回)
- 主な内容
- ・ 次回の議会報告会について
- ・ 市議会だよりの充実について
- ・ 小平市議会へのウェブ提案箱に提出された意見等の取扱いについて 外

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

- 開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)
- 主な内容
- ・ 駅前再開発事業の進捗状況について

スマートシティ小平推進調査特別委員会
委員長 山崎とも子

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

- ・ 令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)
- ・ 近隣市視察(志木市) 外



水口かずえ議員
(まちづくり市民こだいら)

小平駅北口のまちづくりに向けての市の姿勢を問う

質問 ①再開発組合設立に必要な権利者の3分の2以上の同意が得られていない状況での都市計画決定は拙速ではないか。

②再開発に関して、市民生活に重大な影響を及ぼす施策または制度の導入または改廃を行う場合は、市民が参加する機会を保障するという自治基本条例第10条は生かされているか。

市長 ①法的同意条件はないが、引き続き反対の人の意見も聞き合意形成の状況等を踏まえ適切な時期に都市計画の判断をする。

②条例は市民参加等によるまちづくりを目指したもので本事業ではその理念を生かしている。

小川駅西口再開発の現状とバリアフリー化

質問 ①再開発における障害者等の意見の聴取と反映は。

②みんなのトイレや、授乳室、車椅子対応駐車場等の場所を示すバリアフリーマップを小川駅西口地区で作成できないか。

市長 ①2年度は視覚障がい者協会に説明し意見等を参考に反映したものがある。引き続き各障害者団体等を通じて意見聴取しバリアフリー化実現に努める。

②今後、事業の進捗に応じて、再開発組合と連携して研究する。



細谷 正議員
(日本共産党小平市議員団)

公立保育園のあり方を問う/小川駅西口再開発と周辺諸課題

公立保育園における基幹保育園の考え方と私立保育園への移行

質問 ①基幹保育園の考え方について公立保育園9園全てが等しく役割を持つべきだが認識は。

②移行ガイドライン策定に関する保護者意見交換会で保育従事者の参加はあつたか。

市長 ①基幹園は、市内保育施設と連携し、地域全体の保育の質の向上を図ることなどを目的に2園に設定するとしている。

②ガイドラインは、保護者の不安を解消し、円滑な移行を図るなど安定的・継続的な保育園運営を確保する目的で当該園の保護者と共に作成している。なお、公立保育園の保育士への説明会や市内保育施設事業者へのアンケート調査も実施している。

小川駅西口地区市街地再開発事業と小川駅周辺諸課題について

質問 ①既存の有料自転車駐車場の代替確保について、検討状況は。

②プリズトン従業員専用駐車場の今後の見通しは。

市長 ①代替用地については、市が西武鉄道株式会社土地を借用し、再開発組合が施工する方向で協議している。

②駐車場6か所のうち4か所が売却され、そのうち2か所が開発事業が進められている。



用語の解説

※1 ゼロカーボンシティとは 2050年に二酸化炭素の実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方自治体のこと。

※2 えるぼし認定制度とは 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進状況等が優良な企業を認定する制度。管理職比率等の基準を満たす項目数に応じ4段階の認定に分かれる。

※3 アンコンシヤス・バイアスとは 無意識の偏ったものの見方、無意識の思い込みのこと。

※4 防災キャビネットとは 簡易トイレや救急用品など

非常時に役立つ物品を収納した箱のことで、エレベーター内などに設置される。

※5 基幹保育園とは 通常の保育園業務を実施するほか、市内の公立・民間保育施設のネットワークを構築し、地域の保育の質を上げるための支援や連携の推進役、公立保育園等の食育の充実及び人材育成の役割を担う保育園のこと。

※6 財政の早期健全化団体とは 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率の基準を上回る場合、財政健全化計画を策定し、計画的に財政の健全化に向けて取り組む必要がある団体のこと。